

「ささえる」スポーツをテーマとしたスポーツ×キャリア教育の遠隔授業実践 (一般社団法人プロフェッショナルをすべての学校に)

活動類型⑩その他の取組

取組概要

「プロフェッショナルをすべての学校に」をミッションと掲げ、地方でのキャリア教育格差縮小のために、ICTを活用したスポーツ×キャリア教育の遠隔授業を専門とする教育企業。
「ささえる」スポーツをテーマにキャリア教育の教材開発・遠隔出張授業事務局運営を行い、スポーツ関連企業と協働で全国の子供達にスポーツを通じた学びの場を提供。
2019年 静岡大学教育学部発ベンチャー企業認定

実施体制、運営状況等

静岡大学教育学部発ベンチャー企業としてその教材開発の知見を活かし、スポーツ×キャリア教育の教材開発・遠隔授業を実施。遠隔授業協力企業は10社を超え、2020年度は全国の小中学校で100回以上の遠隔授業実施。

教材開発	: 100万円
事務局運営	: 50万円 (年間5校)
機材貸出・遠隔授業コンサル	: 10万円～
実施期間	: 2017年～2020年継続中
人員体制	: 8名



(株)デサントによる中学校での授業の様子
スポーツイベントやグッズを考え発表

取組の狙いとポイント

取組の背景

- 従来のスポーツ教育プログラムは有名選手が学校訪問し、「する」スポーツをテーマにしたスポーツ実践授業や選手の講話が中心であり、こういった教育的アプローチはスポーツ関心層には好評である。
- 一方、無関心層への教育的アプローチの実践は少なく、「する」以外のスポーツの取り組みに課題が残る。また、キャリア教育の視点から考えるとプロ選手との出会いだけでなく、スポーツに関わる多様な大人や仕事に触れる機会も求められている。
- さらに、上記のようなスポーツ教育プログラムは都心中心で行われ、地理的制約により地方では実施されづらいという課題があり、そういった教育格差への対策が必要とされている。

スポーツ関連企業と協働し「ささえる」をテーマとした「遠隔でのキャリア教育授業」プログラムを開発・提供

スポーツに関わる 子ども達を増やす 取組

- 「ささえる」スポーツをテーマとしたキャリア教育授業を実施することで無関心層の子ども達へのスポーツとの新しい関わり方を考えてもらう機会を提供。
- ICTを用いた遠隔授業を活用することで、地理的制約なく地方でのスポーツ教育プログラムが実施可能に。

取組効果 (過去の授業評価より)

- 「ささえる」スポーツをテーマとしたキャリア教育プログラムでは、子ども達がスポーツ業界をより幅広くとらえる視野の養成につながった、と言える。
- 静岡大学教育学部の知見を活かしたアクティブラーニング型の授業形式を実施することで、子ども達の問題解決能力や創造性が育まれた。
- 「地方の子供たちに、「遠隔でのキャリア教育授業」は有意義か?」という教師へのアンケート結果、88%が「とても有意義」と回答した。
- メディアへの掲載実績が2018年が12校、2019年19校と増加し、より多くの方に本取組を届けることができるようになった。

今後の展開、取組方針

- Sport in Lifeプロジェクトに参加する企業と協働して全国100校に届けることを目標とする。
- スポーツ関連企業、国立大学教育学部と協働でスポーツ×キャリア教育コンソーシアムの設立を進める。
- 「ささえる」から「する」への行動変容に関する取組検討中。